

こくさい新聞

中学 3 年生

下関市総合政策部
国際課

電話: 083 (231) 9653

メール
sskokusa@city.shimo
noseki.yamaguchi.jp

令和6年8月、中学生8名が姉妹都市米国・ピッツバーグ市を訪問！

下関市は、令和6年8月に、5年ぶりに中学生を姉妹都市ピッツバーグ市に派遣しました。

今回が21回目となる派遣研修はどんな内容だったのでしょうか？ 盛り沢山の内容をお伝えしましょう。

事前研修と自主研修

団員は、6月29日から9月7日まで6回研修をしました。研修では、団員はそれぞれピッツバーグ市で発表する内容として決めた「食べ物、場所、祭り、学校行事、文化とマナー」について調べ、英語での発表の練習をしました。

また、学校交流の際の出し物「好きな漢字」など準備をしました。

嬉しい、楽しい、感謝、感激の6日間

☆8月18日

新下関駅に集合した団員は、先生や保護者に見送られ、新幹線で博多駅へ移動。羽田空港で出国手続きを行い、日付変更線を越えて約9時間でサンフランシスコ空港に到着しました。



ときどきの入国審査後、サンフランシスコ市内へ移動。人気のハンバーガーショップで昼食を取りました。その後時差で疲れた団員を乗せたバスは、一路ピッツバーグ市へ。ホストファミリーとは緊張の対面。その後団員はそれぞれのホームステイ先に向かいました。

☆8月19日

いよいよ本格的にピッツバーグ市での研修がスタートしました。研修二日目は終日ピッツバーグ高校での体験活動でした。午前は授業の見学及び授業参加をし、午後は高校生の前で、準備していたプレゼンテーションと出し物の発表を行いました。



高校生との交流を終えた後は、17時から市役所でバナレス市長、市議会議員や教育委員会の方たちと面会しました。その後のレセプションでは食事をしながら楽しい時を過ごしました。



☆8月20日

最初にピッツバーグ市警察署の見学に行きました。普段見ることのできない警察署内部に興味深く見学しました。続いて市議会会場では、議員席に座らせていただき、団員の1人は議長席でガベル（採択を知らせる木槌）をたたき体験をさせていただきました。



その後、コントラコスタ郡図書館、ウォーターフロントに99年に下関市が寄贈し設置された「ふくの像」を見に行きました。



昼食後は、ピッツバーグ歴史博物館、カリフォルニアシアターを訪れました。夜は、団員がホストファミリーに、おにぎりや味噌汁などの夕食を振る舞いました。



☆8月21日

研修最終日。この日は大学を二校見学しました。まずは、カリフォルニア州立大学イーストベイス校です。コンコードキャンパスで看護科を見学しました。



昼食後、ロスメダノス大学を見学しました。コミュニティの活動部屋、リサイクルホール等大学の施設を見学しました。

☆8月22日

あつという間に帰国です。団員はホストファミリーに何度も手を振り、別れの挨拶をして名残を惜しましました。



☆8月23日

6日間の研修を通じて、団員は一回り大きくなって下関市に戻ってきました。

ピッツバーグ市で、現地ではできない体験をしてみませんか？